

## 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 海田町立海田西中学校

教諭 山本 竜也

- 1 日時 平成30年1月24日(水)
- 2 学年 第2学年2組(男子14名 女子19名 計33名)
- 3 単元名 海田アピール ～「もの」から「人・こと」へ～
- 4 単元について

### (1) 生徒観

本学年の生徒は、1年次には、「海田町マップ」というテーマで海田町の福祉・防災・歴史・環境・名所・名物・ひまわりの7つのグループに分かれて、興味あること、疑問に思うことを中心に自分たちの町のためにできることを調べている。調べた内容は新聞にまとめ、地域のために自分たちができることを考え、発表を行った。2年次では、職場体験学習を通して海田町で学び、修学旅行において、外国人留学生や、観光客に文化・観光・流行・芸能・食べ物・伝統行事といったテーマに沿ってインタビューを行い、自国の新たな側面に気付くとともに、自分たちの住んでいる海田町の魅力を再認識することを目的としている。

平成29年度「基礎・基本」定着状況調査の生徒質問紙では、「授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。」という情報を整理・分析する能力と「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。」という自分の考えを分かりやすく相手に伝える能力について、県平均を下回っており本学年の課題と捉えている。

		本校	県平均
課題設定	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみよう」と思っています。	74.6	68.4
	授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないかと予想しています。	87.3	74.3
情報の収集	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	49.2	39.9
	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	61.9	48.0
整理・分析	授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	50.8	53.1
	授業では、情報を、比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して、何が分かるのかを考えています。	68.3	66.0
まとめ・創造・表現	授業では、自分の考えを積極的に伝えています。	65.1	58.2
	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	57.1	59.4
実行	授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。	71.4	66.2
振り返り	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	82.5	66.1
	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	73.0	59.0
その他	ふだんの生活や学習の中で、これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています。	84.1	72.4
	授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	82.5	77.5
	授業では、実際にものを使ってやってみたり、地域や自然の中で学習したりするなどの体験活動をしています。	65.1	56.3
総合	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	77.8	67.5

また、2学期に行った小中合同で行っている生徒アンケートでは、「学習の振り返りをするときには、『もっと考えてみたいこと』『もっと調べてみたいこと』『もっと工夫してみたいこと』などを考えています。」と肯定的に答えた生徒の割合が71%となっており、振り返りの部分に問題があると考えられる。また、「海田町は魅力のある町だと思う。」と肯定的に答えた生徒は

60%、「将来もできれば海田町に住みたいと思う」と答えた生徒は 50%を下回った。その理由は、いろいろな町を見て将来の自分の選択肢を増やすためという意見が多かった。

## (2) 単元観

本単元は、他の国や他の県、市町村から新たな視点を獲得することで、海田町を見つめ直し、自分たちのできることを考えて、実行することを目標としている。また、本単元は、本校の総合的な学習の時間の目標である「自分と地域とのかかわりについて、探究的な活動を通して、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。」の土台となる単元である。特に、総合的な学習の時間の目標である、自ら課題を見付け、主体的に判断すること、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てることを目標としている。これまで経験したことがない課題に挑戦し、達成感を味わうことにより、主体的に解決しようとする意欲を育てることができる。また、学習を通してやり遂げ達成感から自らへの自信をもたせられることを期待する。地域の人・もの・ことと関わることで、地域への愛着や、社会の一員としての自覚を深めていくことができるとも考えられる。

## (3) 指導観

2年次では、海田町の「もの」から「人・こと」への視点を獲得することを目標とする。資質・能力のうち、特にイ「課題解決のために、必要な情報を得る方法を考え、多角的に分析すること」、カ「学んだことを関連させて、自国の文化を発信し、情報を集めること」に課題があるため、次の2点について指導の工夫を行う。

1点目は、まず、課題設定の場面では、1年次に行ってきた「海田町マップ」の活動を思い出しながら、海田町をアピールする方法を考え、内容やアピールの手法を、KJ法で類型化し、課題を明確にさせたい。

2点目は修学旅行で浅草を訪れた際に、海外からの観光客、留学生に海田をアピールすると同時に、相手の出身の国・町のアピールをお願いしている。留学生には事前に、ものに頼ったアピールではなく、人間性や、行われていることといった無形のものを取り上げるようにしてもらおう。こうすることで、多くの生徒が注目している「もの」という視点から、「人・こと」に視点が変わっていくことを期待する。

海田町では、年に一度、子ども議会を招集し、町の問題点や将来像について、直接町長をはじめ町執行部へ質問や提言を行う機会がある。生徒が3年生になったとき、そのような機会を利用して、ものだけに偏らない「人・こと」という視点も含めた海田をアピールする方法を考え、「魅力あるまちづくりへの貢献」に向けて必要な取組を考える土台となればと考える。

## 5 単元の目標

○留学生に対して、海田町の魅力をアピールする活動を通して、海田町の魅力を再認識し、ふるさと海田町のためにできることを考え、実践できるようにする。

6 単元の評価規準

学習方法		自分自身		他者や社会とのかかわり
知識・情報	課題発見・解決力	主体性	自らへの自信	チャレンジ精神
ア 目的に合った情報を収集, 選択し, 多角的に分析している。	イ 海田町の現状の課題を適切に見い出している。 ウ 振り返りから, 新たな視点を見いだしている。	エ 課題解決に向けて, 意欲的, 主体的に取り組んでいる。	オ 学んだことを関連させ, 自国の文化を発信し情報を集める。	カ 意見を尊重し, お互いに考えを深め合い, 協働的に問題の解決をしている。

7 本単元において育成したい資質・能力

【学習方法に関すること】

- ア 収集した情報や, 自分の考えを, 相手や目的に応じてわかりやすく説明する。
- イ 課題解決のために, 必要な情報を得る方法を考え, 多角的に分析する。
- ウ 自分たちが調べてまとめたことに関して, 新たな課題を見つけ, 改善策を考える。

【自分自身に関すること】

- エ 課題解決に向けて, 意欲的, 主体的に取り組む。
- オ 学んだことを関連させ, 自国の文化を発信し情報を集める。

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- カ 他者と協働して問題の解決にあたる。

8 単元の学習指導計画 (全7時間)

時	学習内容	評価					評価規準 (評価方法)
		知識・情報	課題発見・解決力	主体性	自らへの自信	チャレンジ精神	
1	<b>課題の設定</b> ○1年次の「海田町マップ」を基に, 海田町の魅力を交流し, 修学旅行で留学生に対して海田をアピールすることを知る。		◎				・海田町の現状の課題を適切に見い出している。【学ーイ】 (発言・ワークシート)
2	<b>情報の収集・分析</b> ○海田町PRのプレ発表の準備をする。 ・海田町をアピールする対象, 目的を理解し, 内容を考える。			◎			・課題解決に向けて, 意欲的, 主体的に取り組んでいる。 【自ーエ】(発言・ワークシート)

英語	<b>整理・分析</b> ○海田PRのプレ発表を行う。 ・内容に関する成果と課題を明らかにする。				◎	・意見を尊重し、お互いに考えを深め合い、協働的に問題の解決をしている。【他ーカ】 (行動観察・ワークシート)
3	<b>まとめ・創造・表現</b> ○内容の加筆・修正を行う。 ・プレ発表で明らかになった課題の解決に取り組む。				◎	・意見を尊重し、お互いに考えを深め合い、協働的に問題の解決をしている。【他ーカ】 (行動観察・ワークシート)
英語	<b>情報の収集</b> ○浅草を訪れている外国人観光客に英語を用いてインタビューを行う。				◎	・学んだことを関連させ、自国の文化を発信し情報を集める。 【自ーオ】(発言・行動観察)
4	<b>整理・分析</b> <b>まとめ・創造・表現</b> ○これまでの学習と修学旅行で収集した情報の整理を行い、まとめたことを発表する。 ・種類ごとに分類したり、比較したりするなどして情報を分析する。 ・情報や資料を、マップや図、表などに整理する。	◎		○		・目的に合った情報を収集、選択し、多角的に分析している。 【学ーア】(発言・行動観察) ・課題解決に向けて、意欲的、主体的に取り組んでいる。【自ーエ】 (発言・行動観察)
5	<b>振り返り</b> <b>課題の設定</b> ○浅草での留学生との交流を振り返る。 ・留学生や外国人観光客との交流が自信につながったことを確認する。				◎	・振り返りから、新たな課題を発見することができる。【学ーウ】 (行動観察・ワークシート)
6 本時	<b>整理・分析</b> ○自分たちの行った海田PRと、留学生にしてもらったPRを比較する。 ・自分たちの「もの」に関する観点だけではなく、「人やこと」に視点を移させる。	○			◎	・目的に合った情報を収集、選択し、多角的に分析している。 【学ーア】(発言・行動観察) ・振り返りから、新たな視点を見いだしている。【学ーウ】 (発言・行動観察・ワークシート)
7	<b>まとめ・創造・表現</b> <b>振り返り</b> ○課題に対して、新たな視点から海田町PRを入れたお礼状を作成する。				◎	・学んだことを関連させ、自国の文化を発信し情報を集める。 【自ーオ】(発言・行動観察)
<p>★「深い学び」を実現した生徒の具体</p> <p>海田町には「もの」のだけでなく、素敵な行事や季節があることに気付いた。留学生にお礼だけでなく、その時期に来てもらえるPRを入れた招待状を書きたい。</p>						

9 本時の学習

(1) 本時の目標

自分たちの行った海田PRと、留学生にしてもらったPRを比較することを通して、新たな視点を加えたPR内容を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

◎ 課題発見・解決力

- ・振り返りから、新たな視点を見い出している。
- ・海田町の現状の課題を適切に見い出している。

(3) 準備物

- ・付箋
- ・模造紙
- ・マーカー
- ・ワークシート

(4) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点 (◇) ◆配慮を要する児童への支援	評価規準 資質・能力 (★) (評価方法)
導入	1 学習内容の確認	◇留学生へのお礼状を各班で作成することを確認する。	
展開	2 課題の設定 「留学生のPRを整理してみよう。」	◇修学旅行で行った自分たちの海田PRと留学生が行った国のPRを思い出し情報を整理する。 ◇情報をワークシートに整理し、気づきを発表させる。	★振り返りから、新たな視点を見いだしている。【課題発見】(発言・行動観察、ワークシート)
	3 本時のめあてを再確認する。	◇本時にすべきことを確認する	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     新たな海田PRを入れてお礼状の構成を作成しよう。                 </div>			
	4 各グループでアイデアを出す。 「他にPRすることある？」	◇人やことの視点を入れた海田PRを含む、留学生へのお礼状を作成する。 ◇「ひかじり」をキーワードに海田PRの内容を出していく。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     「協働」の場面での生徒の言葉                 </div>			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     ・海田の七夕さんや、熊野神社の祭りをアピールしてみよう。                      ・ひまわりもそうだけど、海田のひまわりやさんもいつも手伝ってくれるよね。                 </div>			

	5 情報の整理・分析を行う。	◇海田PRに入れる内容を検討する。 ◆どういう視点で見たらよいと思う？と観点を考えさせる。思考ツールのマトリクスを利用し、もの・人・ことの観点で分類する。	★目的に合った情報を収集, 選択し, 多角的に分析している。 【知識・情報】 (発言・行動観察)
	6 情報の交流	◇お礼状の構成を作成する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>★めざす生徒の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生との交流を通して、海田町にある「もの」にばかり注目してきたけど「人やこと」もアピールすることがあることに気付けた。</li> </ul> </div>			
まとめ	7 本時の学習を振り返り, 次時の内容を確認する。	◇次時の見通しをもたせる。	

(5) 板書計画

本時の目標：新たな海田PRを入れてお礼状の構成を作成しよう。			
	もの	人	こと
留学生			
海田西			